

会 議 録

会議名		平成 27 年度 第 3 回福生市環境審議会
日 時		平成 28 年 2 月 15 日 (月) 午後 2 時～3 時 20 分
場 所		福生市役所第 2 棟 4 階 議会会議室
出席者	委員等	小倉会長、祖父江副会長、杉森委員、横田委員、畠瀬委員、千葉委員、野村委員
	事務局	北村生活環境部長、中島環境課長、名取環境係長、菊地主査 小澤はる奈 (環境自治体会議)
欠席者		田村委員、山下委員
議 題		議事 (1) 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画 (素案) に関する意見について (2) 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画 (案) について
公開・非公開の別		公開
配布資料		① 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画 (素案) に関する意見 ② 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画 (案) ③ 第 2 回福生市環境審議会資料
会議内容		<p>1 議事</p> <p>議案 1 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画 (素案) に関する意見について</p> <p>【事務局より説明】</p> <p>○平成 27 年 12 月 18 日 (金) から平成 28 年 1 月 21 日 (木) まで議員の意見聴取を行い、3 件の意見があった。市民意見は平成 28 年 1 月 7 日 (木) から 21 日 (木) まで行ったが、意見はなかった。</p> <p>○議員意見の概要</p> <p>①P33 地球温暖化対策の枠組みの明確化について</p> <p>2020 年の東京オリンピック・パラリンピックにむけ、都では「水素社会の実現」に向けての取り組みを明確にした。福生市でも地球環境問題・公害等への取り組みの中で、市民と協働で「水素社会の実現」を推進してほしい。</p> <p>(意見に対する市の考え方)</p> <p>同 33 ページ施策①「地球温暖化対策の枠組みの明確化」の取組</p>

において、エネルギー需給構造やエネルギー制度改革などの大きな社会情勢の変化や市の重点政策（定住化促進、再開発等）の成果を踏まえて、市のエネルギー政策の長期的方向性について情報収集を行うこととしております。今後はこの計画に基づき、先駆的な取組である水素エネルギーについてCO₂削減対策のひとつの具体的な選択肢として、市場動向や国・都の補助制度など市にとって有用な情報の収集・発信に努めます。

②P34 自転車のまちづくりについて

自動車依存社会から自転車社会にシフトするのは大変評価できるので、電動アシスト自転車の拠点を増設してほしい。環境面だけでなく、免許証を返上した高齢者の円滑な移動にも有効である。

（意見に対する市の考え方）

同 34 ページ施策④「自転車のまちづくりについて」に取り組む上で、電動アシスト自転車を活用したサイクルシェアリングは重要な事業の一つと考えております。事業は平成 26 年度より本格実施いたしました。サイクルポートは平成 27 年度に新たに 1ヶ所開設し、現在 5ヶ所に整備しております。今後もサイクルシェアリングの利用状況等を踏まえ、より多くの方にご利用いただけるよう利便性の向上に努め、取組を進めていきます。

③P34 自転車のまちづくりについて

違法な電気自転車の走行も見受けられることから、子どもたちへの自転車マナー教室の他、広報での周知、また外国人への周知も図ってほしい。

（意見に対する市の考え方）

同 34 ページ施策④「自転車のまちづくりについて」の取組において、自転車の安全な利用と自転車のまちづくりについて利用者の視点から考えるきっかけづくりのため、主に児童生徒を対象に学習機会を提供することとしております。

自転車のマナーについては、全ての利用者の意識を高める必要があると考えます。現在実施している小・中学生を対象とした自転車のマナー教室や交通安全教室を継続して実施し、広報等さまざまな機会を捉えて自転車利用のマナー向上の啓発を行っていきます。

（補足）議員より交通安全教室で実物の電気自転車を提示し説明してほしいとの要望あり。担当課へ依頼済み。

【質疑】

（委員）

電動アシスト自転車と電気自転車は違うものか？

(事務局)

別のものである。交通安全教室では、実物を見せて行いたいとのことである。

(委員)

地球温暖化対策の取り組みで、枠組みの明確化とあり、情報収集や発信を行うとのことだが、その結果において必要なものをするということが良いか？

(事務局)

今後、国や都から補助金も含めた様々な情報が発信されるはずである。有効活用したい。記述内容は大きな捉えのため、管理進行は毎年の調査での把握を想定している。

議案2 福生市環境基本計画第2期中期実施計画(案)について

【事務局より説明】

○前回の会議でいただいた意見を踏まえ文言等を修正した内容である。

○「第3次福生市地球温暖化対策実行計画」を策定する中で、市有施設の温室効果ガス排出量の数値が確定したので、「第2期中期実施計画」の管理指標の数字を修正した(P44)。道路照明灯のCO₂を含めるべきということになり、道路照明灯分を含め、平成20年度の新庁舎の影響を加味して1.1倍し、防災食育センター一分として357,577Kg-CO₂を加えた数値である。

【質疑】

(委員)

もう少し詳しい内訳を教えてください。現況の数字は道路照明灯分を含んでいるか？計算の根拠がわかるとよいのだが。

(事務局)

現況の数字は道路照明灯分を含んでいる。

平成15年度の基準値は道路照明灯分を含めないで3,648,859 Kg-CO₂。平成15年度の道路照明灯分は767,716 Kg-CO₂であったので、道路照明灯分を入れると4,416,575 Kg-CO₂。この数字を1.1倍し、4,858,233 Kg-CO₂(平成15年度新基準値)。平成32年度の目標値(防災食育センター除く)は3,833,146 Kg-CO₂であるが、防災食育センター一分として357,577Kg-CO₂を加えた4,190,723 Kg-CO₂が目標値となる。防災食育センターの増加分はあくまでも見込みである。目標値の検討も考えている。

(委員)

全体を 1.1 倍して良いものか？車の燃料も入れているのか？
(事務局)

車の燃料が占める割合は 3%位である。平成 24 年度に減少し、また増えている。ということで全体の 1.1 倍にした。

(委員)

目標値が現状より増えることを前提にしているのはどうなのか。

(事務局)

防災食育センターの値を考慮しないわけにはいかない。

(委員)

2つの給食センターが1つになるのだから減ると思うが、増えるのはなぜか？

(事務局)

中学校給食を開始することが大きな原因である。「子育てするなら福生」を掲げ、子育て世代に長く住んでもらいたい。また防災の機能強化、拠点という考え方である。

(委員)

増えるのは中学校分で防災面は（常時）やっていない。

(事務局)

防災面の対応ができる施設規模である。

(委員)

必要最小限にしないと CO2 は増える。抑える考え方が必要ではないか。

(事務局)

CO2 を出さないような設備を配置している。

(委員)

庁舎が 1.1 倍で驚いている。少しでも増える分を減らすことはできないものか。防災食育センターの省エネの工夫をしている点をアピールしてほしい。防災の面も必要なので、CO2 はゼロにはならない。努力する必要があると思う。

(事務局)

市の施設を新築、改築する際の方針に沿って行っている（福生市市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針）。わかたけ会館の太陽光を導入実施し、もくせい会館の建て替えでは太陽光の設置等行う。防災食育センターは工場扱いで、庁舎よりも CO2 を排出するが、滑走路の真下のため太陽光が設置できない。CO2 の削減は今後設備投資が必要だが、経費もかかる。

(委員)

断熱も含め検討してもらたらよいかと思う。

(会長)

設備投資はお金もかかるが、それによって CO2 が減るというメリットがあれば、それを強調してはどうか。

(委員)

2030 年の最終数値は変わるのか。

(事務局)

変わると思う。防災食育センターの数値を考慮しなければならない。

(委員)

これをチャンスととらえ、どこまでエネルギーが抑えられるか、他市に誇れる取組みをしてほしい。

(事務局)

平成 15 年度は道路照明灯を含めるべきでないとの考え方であった。LED の出現により、道路照明灯は含めるべきとの意見となった。防災食育センターは大きな施設のため、このような大きな数字になったが、現実とかい離れた数字なら考えねばならない。

(委員)

NPO 法人や市の協働事業も多いのに、パブリックコメントで市民意見がゼロだったのは解せない。策定の段階で意見が反映されているなら良いのだが。1 月のパブコメだけで良いのだろうかと思う。NPO 法人などに情報を与えてはどうか。必要のあるところへ連絡するなどしてはどうか。

(事務局)

今回は総合計画が変わった関係で、分野別計画策定が 8 本あった。それで、本計画もかすんだかもしれない。どうしたら意見集約できるかは気になるところである。

(事務局)

1 月のパブリックコメントでは、6 本の計画中 3 本が市民意見はゼロであった。

(委員)

個人的には「エコシティ ふっさ」になると良いと思っている。

(委員)

先ほどの御意見に対してだが、本計画を策定するための「環境市民会議」で、環境に関心のある方が意見を出しきっているかと思う。全体の機運が盛り上がっているかどうかは課題かと思う。中心になる市民(団体)は少ない。学校でも環境学習に力を入れ

	<p>ており、その子どもが育ち…という長い目で見る必要があるかと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>ごみの分別は素晴らしい。</p> <p>(委員)</p> <p>(旧) 環境市民会議で出された意見の成果だと思う。意識のある市民が集まってできたことである。</p> <p>(委員)</p> <p>市民の意識は上がっている。</p> <p>(委員)</p> <p>ごみカレンダーは好評である。効果が上がっている。</p> <p>今後の予定</p> <p>審議した計画(案)については、2月の庁議に付議し、3月議会の全員協議会で示す予定。</p>
--	--